

吸音型歩車道境界ブロック

自動車騒音の低減を図る歩車道境界ブロックです。



吸音型歩車道境界ブロックの特長

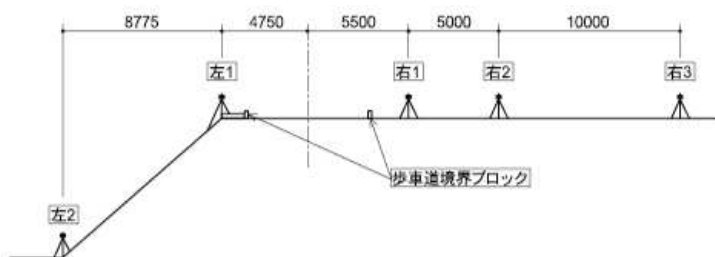
ますます増大する自動車交通に対し、沿道の生活環境保全を図る上で、一般道路においては土地利用の面から防音壁の設置は困難な場合が多いようです。このような状況において、土地利用に影響がない低層吸音施設として、ポーラスコンクリートの連続空隙により交通騒音低減を図る製品です。

- 従来の透水製品と異なり、連続空隙率18%以上の連続した空隙を有し、吸音効果大きい。
- 製品質量は、従来の製品より18%程度軽量なので施工性がよい。
- 曲げ強度はJIS規格値以上である。



国土交通省四国技術事務所吸音試験結果

国土交通省四国技術事務所構内の道路で普通乗用車を定速走行(40km/h)させて吸音効果を測定しました。左側法下(左2)では、普通タイプ縁石に比べ2~5dB(A)低下し、その他(左1・右2・右3)では、1~3dB(A)の低下が認められました。

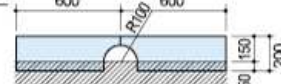
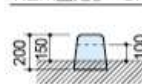


雨水排水比較

吸音型歩車道境界ブロックは、連続した空隙率が18%以上あり、以下に示すように排水量的には十分な透水性を持っています。しかし、微細な空隙の集合であるため施工の場所によって、目詰まりなどを考慮した構造を検討することが望ましく、水抜き穴を設けた製品に関しては別途ご相談ください。

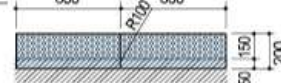
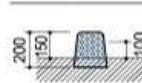
- 従来製品水抜き穴による排水例

排水面積 $\pi \times 0.1^2 \text{m} / 4 \times 0.5 = 0.016 \text{m}^2$
1.2m当たり 0.016m²

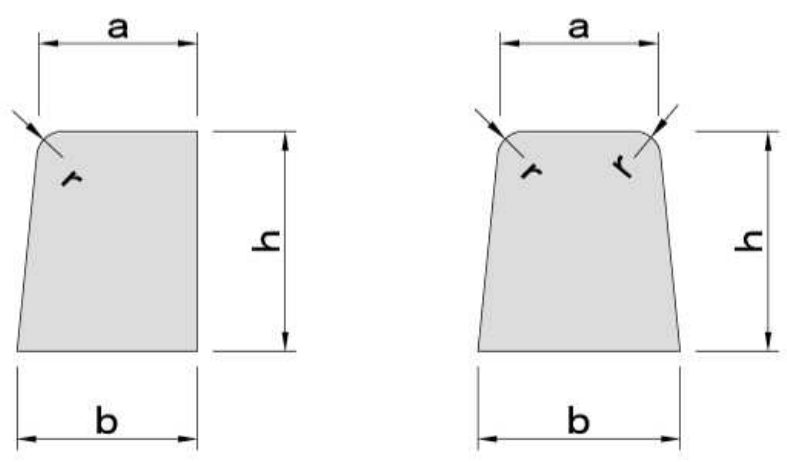


- ポーラス連続空隙率による排水

排水面積 $1.2 \text{m} \times 0.1 \text{m} \times 0.18 = 0.022 \text{m}^2$
1.2m当たり 0.022m²



単体図



種別	呼び名	参 考 量 (kg)	価 格 (円)	寸 法 (mm)					備 考
				a	b	h	r	L	
片 面	A	37		150	170	200	20	600	
	B	58		180	205	250	30	600	
	C	69		180	210	300	30	600	
両 面	R・A	40		150	190	200	20	600	
	R・B	60		180	230	250	30	600	
	R・C	73		180	240	300	30	600	

※ 景観に配慮した着色タイプも製作できます。

